

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012長第9号	
事故等種類	養殖施設損傷	
発生日時	平成23年11月25日 13時00分ごろ	
発生場所	熊本県天草市牛深港東方沖 牛深港白瀬2号防波堤北灯台から真方位105° 1.2海里付近 (概位 北緯32° 11.2′ 東経130° 03.3′)	
事故等調査の経過	平成24年2月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 引船 第二大徳丸、46.46トン 122503、個人所有</p> <p>B バージ 伊勢、全長40.0m なし、株式会社熊本ドレッシング</p>	
乗組員等に関する情報	船長A、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B なし 養殖施設 ブイ及びアンカーロープに損傷	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか2人が乗り組み、B船をえい航してA船引船列を構成し、牛深港東方沖を約5～6ノット（kn）の速力で手動操舵により東進中、南南西への潮流により圧流され、平成23年11月25日13時00分ごろ、‘牛深港東方沖に設置された養殖施設’（以下「本件養殖施設」という。）に進入し、B船の右舷船尾の錨及びスパッドが本件養殖施設を固定していたアンカーロープに絡まった。</p> <p>船長Aは、本件養殖施設に損傷を与えないよう、南南西への潮流に船首を向けて主機を微速力前進とし、関係者に連絡して救助を待った。</p> <p>A船引船列は、その後、到着したダイバーによりB船と本件養殖施設との切り離し作業が行われ、B船の錨2個を捨錨して目的地へ向けて航行を再開した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約3m/s、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期、潮流 南南西流約3kn</p>	
その他の事項	<p>本件養殖施設は、一辺の長さが約25mの正方形をした養殖筏が南北に2台設置されてアンカーロープで固定され、オレンジ色のフロートブイや黄色の標識灯を表示していた。</p> <p>船長Aは、年に約2～3回、本事故発生場所付近を航行しており、本件養殖施設が設置されていることを知っていた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり

	判明した事項の解析	A 船引船列は、牛深港東方沖を東進中、南南西への潮流により圧流されたことから、本件養殖施設に進入し、同施設を損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、A 船引船列が、牛深港東方沖を東進中、南南西への潮流により圧流されたため、本件養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 操船者は、潮流の影響を考慮した操船を行うこと。 	